

極地研における研究データ出版の現状 (学術情報リポジトリの状況)

国立極地研究所情報図書室

齊藤 泰雄

国立極地研究所学術情報リポジトリ

https://nipr.repo.nii.ac.jp/

国立極地研究所における教育・研究活動の成果物を電子データで収集・保存し、Web上で公開しています。



2018/4/18 「概要」ページを更新しました。当リポジトリの連携先情報を記載し、関連規則・申請書・ガイドラインを更新しています。
2018/2/20 コンテンツ登録手続費のページを作成しました。

The screenshot displays the NIPR repository's main page. The central 'インデックスリスト' (Index List) features a search bar and a list of categories with item counts, such as 'シンポジウム要旨集 [4206件 (非公開82件)]', '学術成果物 (外部) [299件 (非公開176件)]', and '論文類 [2172件]'. The left sidebar includes a 'Language' dropdown set to '日本語' and an 'インデックスマップ' (Index Map) section with various navigation links. The right sidebar contains a 'LINK' section with external links, a 'Menu' section with site navigation, a 'What's New' section with an RSS feed, and a 'Counter' section showing visitor statistics.

極地研究所刊行誌の南極資料、Polar Data Journalなどの論文データ、シンポジウムの発表資料などが含まれています。研究データも含まれている？

極域データの保全・公開と利活用に関する研究集会-II

(定義)

第2条

本指針におけるリポジトリとは、研究所の学術研究の発展に資するとともに、広く社会に貢献することを目的として、研究所における教育・研究・教育活動成果物のうち、**情報図書室が管理する資料**（以下「資料」という。）を電子的に収集・蓄積・保存し、所内外にネットワークを通じて無償で発信・提供する電子アーカイブシステムをいう。

(登録の対象となる資料)

第5条

登録の対象となる資料は、次の要件を全て満たすものとする。

- 一 **学術的に意義のある資料であること**
- 二 **研究所に在籍する、又は在籍したことのある教職員が作成に関与したものであること**
- 三 **電子的フォーマットで作成されていること**
- 四 **ネットワークを通じて配信できること**

国立極地研究所オープンアクセス方針

<https://www.nipr.ac.jp/outline/activity/oap.html>

✔ 研究成果公開に関する原則

研究所は、出版社、学会、所内部署等が発行した**学術雑誌に掲載された教職員の研究成果**（以下「研究成果」という。）を、研究所の機関リポジトリ「**国立極地研究所学術情報リポジトリ**（National Institute of Polar Research Repository）」において公開する。公開する研究成果には、原則として「**クリエイティブ・コモンズ表示 国際パブリック・ライセンス 4.0 及びその後継版**」を付与する。

✔ 研究成果の根拠データ公開に関する原則

研究所は、研究成果のエビデンスとなる**研究データ**（以下「根拠データ」という。）を原則として公開する。

学術情報リポジトリでの研究データ登録状況

✔ 状況：

現在は学術情報リポジトリに登録して欲しいと個別に相談を受けて登録している
すでに登録されているデータを参考にしながら登録している

✔ 資源タイプ： Data or Datasetで登録されているもの

7件登録、DOI付与は実装済みであるが、まだ付与はしていない。

- Nightly mean gravity wave spectrum
- Mean temperature and wind
- Ca+ density observed by a frequency-tunable resonance scattering lidar at Tachikawa from 2014 to 2016
- Na temperature lidar observations between 2007 and 2009 at Uji
- Ca+ density observed by a frequency-tunable resonance scattering lidar at Tachikawa
- Potential_energy_observed_by_Rayleigh_Raman_lidar_2011_2015
- Gravity wave potential energy over Syowa

その他、次期JAIRO Cloud（次期リポジトリシステム）に極域統合データプラットフォームのデータを登録する実証実験に参加している。

今後の課題

- システム側の対応は進んでいる？
現行JAIRO Cloud、次期JAIRO Cloudでの研究データ登録対応
- 研究データ出版のノウハウの蓄積が必要
- 業務を定型化していく
など